

民主島根

2019年
7.28
第1341号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

野党統一候補 中林佳子氏、大健闘！

市民十野党共闘の流れ力強く前進

中林氏「共闘の動き発展させたい」と街頭から決意

鳥取・島根選挙区で野党統一候補として両県を駆け巡った中林佳子氏（73）は22日、松江駅前選挙結果を報告し、「市民と野党の連携が始まり、広がるのを感じ、ワクワクする日々でした」と述べ、「議席には届きませんでした、政治を変える大きな動きが始まったと実感しました。この力で政治が変わることを確信しています。政治を変えるために全力を挙げます」と訴えました。中林氏は鳥取、島根両県合計で16万7329票、31.72%を獲得。一方、島根県では、自民党現職の得票は、前回比70.6%にまで落ち込みました。



投票日の翌日、公約実現の街頭宣伝に立つ中林氏ら（松江市）



で政治を変える会・山陰の代表ら市民と日本共産党や立憲民主党、国民民主党の国会議員や地方議員の議席 前回当選6から7へ
日本共産党は、前回2016年の参院選の6議席から7議席（選挙区3

員、社民党連の幹部などが中林候補とともにマイクを握りました。（2面に選挙区と比例の結果）

意を述べました。（写真）尾村県議は、非改選と合わせて13議席になり、衆参で25人の国会議員団となったことを報告。消費税10%増税ストップ、減らない年金、原発ゼロ、9条改憲ノリなど、明日の暮らしに希望が持てる政治の実現に向けて、引き続き、全力を尽くします」と訴えました。

草の根の運動で改憲阻止

仁比氏「政治変える これからも全力」

参院比例候補としてたたかった仁比聡平氏は2



2日朝、福岡市のJR博多駅で選挙結果を報告し、公約実現に全力を尽くす決意を述べました。田村貴昭衆院議員がともに訴えました（写真）仁比氏は、議員としての6年間、「憲法を壊す秘密保護法、戦争法、共謀罪を廃止に追い込んでいこうと全国のみなさんと運動をともしてきた。

国民平和行進が県庁訪問

丸山知事、中村議長が核廃絶ペナント託す

21日に島根県入りした原水爆禁止国民平和大



行進（富山―広島コース）の通し行進者の山田太枝さん（74歳）らが22日、県庁・県議会議会を訪れました。（写真上）日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議が



同席しました。丸山達也知事からは、ヒバクシャ国際署名と核兵器廃絶ペナントが寄せられ、中村芳信県議会議長からもペナントが託されました。（写真下）三島正司総務部次長、糸賀克巳県議会議務局長は「暑い中、大変だと思えますが、健康に留意され、ゴールされることを願っています」と激励しました。県議会議務局からは、署名と募金が手渡されました。

核兵器のない世界へ 県内「国民平和行進」今後の日程

- 7月25日（木） 斐川・出雲
- 7月26日（金） 出雲
- 7月27日（土） 加茂・大東・仁多・横田
- 7月28日（日） 木次・三刀屋
- 7月29日（月） 掛合・吉田
- 7月30日（火） 頓原・赤名（広島県へ引継ぎ）

鼓動

「歴史の大局観を見失わないこと」――参院選投票から一夜明けた22日、市田忠義党副委員長がフェイスブックでよびかけた。「部分でなく全体を見る。歴史の『流れ』のなかでものを見る。現職落選や比例で議席を減らしたことは残念だが、そこから選挙結果を見るのは正しくないと思うのです。そこにどまっていたら何も前向きなもの生まれません。今回はどうしようか」▼実際、今回の選挙でいちはん議席を減らしたのは自民党だ。単独過半数にも大きく及ばず、改憲勢力全体で3分の2を割り込んだ。決定的役割を果たしたのが「市民と野党の共闘」だ。全国32の1人区すべてで野党統一候補が実現し、10選挙区で勝利。改選2議席から10議席へ躍進し、共闘の力が改憲策動に痛打を与えた▼鳥取・島根選挙区で野党統一候補になった中林よし子候補には、自民党支持者も含め、党派をこえた支援が寄せられた。最後の訴えには、立憲民主党の県議もかけつけ、野党支持者の多数が中林候補に投票。島根で自民候補が前回比3割以上も得票を減らし、中林さんが10万票を超え、支持を集めた意義は大きい。「野党共闘かみあわず」など一部メディアの報道は「部分」を切り取った浅薄な見方にすぎない▼「安心できる年金を」「消費税増税はストップしてほしい」「憲法9条は変えないで」など、たくさん願いが寄せられた。中林候補の政策は大きな共感を集めた。「歴史の大局観」をしっかりと見据えて、選挙戦で訴えた公約実現へ全力をあげたい。選挙戦で寄せられたご支援に心からの感謝の思いをこめて。（後）